

府内各地から、500人超える参加者 元宜野湾市長・伊波洋一さんから連帯メッセージ 京都に米軍基地いらない!!! 6. 15丹後集会



←質問に答える戸田事務局長と渡辺弁護士



6月15日、『米軍基地設置反対丹後連絡会』と『京都に米軍基地いらない府民の会』の共催で、京丹後市・経ヶ岬にXバンドレーダー米軍基地設置に反対する『京都に米軍基地はいらない!!! 6・15京丹後集会』が、現地、京丹後市・平（へい）海水浴場駐車場で開かれました、滋賀・大阪など近隣府県をはじめ、府内各地から500人を超える参加となりました。

集会には、元宜野湾市長・伊波洋一さん、日本平和委員会、安保破棄実行委員会から、メッセージが寄せられました（『伊波さんのメッセージ』は裏面に掲載）。また、集会では、17万円超のカンパが寄せられました。

丹後連絡会・近江事務局長の司会で始まった集会は、主催者を代表して丹後連絡会・三野みつる副代表が、「地元では、米兵犯罪、電磁波問題などに不安。基地計画を撤回させるために支援を」と開会のあいさつ。

「府民の会」事務局長で、京都平和委員会理事長の戸田昌基さんと自由法曹団京都支部事務局長・弁護士の渡辺輝人さんにより、基地建設に関わる軍事、電磁波、米兵犯罪などの疑問・質問に「Q & A」方式で回答。日米地位協定のもとで、住民の安全はまったく確保されていない日本・沖縄の実態を明らかにしました。

平区長・上宇川連合区長の増田光夫さんは、「この風

景を守りたい。ここに米軍基地が似合うのか、区民と一緒に考えたい」と訴えました。

袖志（そでし）出身・間人（たいざ）で漁業を生業とする漁師の増田卓雄さんは、住民説明会で、まともに答えられない防衛省を批判。「漁業者の生活の糧を守り、豊かな丹後・宇川の景観と自然を子どもや孫に残すためにも、米軍基地は設置させてはならない」と訴えました。

「米軍基地建設を憂う宇川有志の会」・永井友昭さんは、地元・宇川地区が基地受け入れを前提にした「要望書」提出を見送ったことを紹介し、「丹後・京都全域に伝え、何とか基地建設を防ぎたい。」と述べました。さらに、新婦人京都府本部・森下総子会長、平和新聞・黒津和泉記者も発言。また、日本共産党府会議員・浜田良之さん、京丹後市会議員・田中邦生さんがXバンドレーダーをめぐる各議会の状況も報告されました。

「府民の会」共同代表・京都総評議長の吉岡徹さんは、「京都に米軍基地いらない、住民の安心・安全な生活を守るため、市長、知事、総理大臣に対する基地設置反対署名を大きく広げよう」と閉会あいさつ。そして、「集会アピール」（裏面）を採択し。最後に「京都に米軍基地はいらない!!!」「米軍基地建設反対!!!」の参加者全員によるシュプレ・ヒコールで集会を閉じました。

・発行：米軍専用レーダー基地の設置の撤回を求める京都府民の会（略称：京都に米軍基地いらない府民の会）

連絡先：京都市中京区壬生仙念町30-2 ラポール京都5階 京都総評内 京都共同センター気付 電話 075-801-2308 FAX 075-812-4149

京都に米軍基地をつくるな丹後集会へのメッセージ

京丹後市の経ヶ岬へのXバンドレーダー米軍基地建設に反対して、「米軍基地をつくるな丹後集会」に結集した皆様に、沖縄から心からの連帯のメッセージを送ります。

新たな米軍基地を決して建設させてはなりません。先日、お招きを受けて、建設予定地を視察しましたが、由緒ある清涼山九品寺の穴文殊堂を取り囲んで米軍基地建設が行われることを知って驚きました。アメリカでは決して許されないでしょう。さらに、160名もの単身米軍人、軍属に対して地域の皆さんが大変心配していることがわかりました。9日の集いでは、終戦後に進駐軍の駐留で起きたことなどが語られ、皆さんが米軍関係者による事件を心配していました。

沖縄では復帰後に米軍関係者の事件が5千件以上も起きています。米軍基地内でも性的暴力事件が激増し深刻な問題となっています。米軍基地建設で地域に米軍犯罪を持ち込ませてはなりません。

米軍基地が建設されたら、国は住民のための対策は何

もしてくれません。

復帰から41年経っても沖縄では深刻な住民被害はなくなり、IUIどくなるばかりです。昨年12機配備されたオスプレイの激しい騒音と振動で沖縄県内各地の住民が悲鳴を上げています。伊江島や宜野座村では深夜11時近くまで夜間訓練が行われ、騒音と振動で住民の生活が破壊されても国は何もしてくれません。

それどころか、昨年国が配備直前に発表した安全飛行ルールに違反していると沖縄県と関係市町村が指摘した318件の飛行事例すべてについて「明確な違反はなかった」と先月末に防衛省は発表し、オスプレイ飛行の被害を受けている地域住民を含めた多くの県民が憤慨しています。

経ヶ岬のXバンドレーダー米軍基地建設のために防衛省が説明している事もまったく守られる保証はありません。平穏な京丹後地域に安全性が不確かで危険な米軍犯罪を呼び込むような米軍基地を建設させないために頑張りましょう。

本日の丹後集会の成功を祈念して、沖縄からのメッセージといたします。

2013年6月15日 伊波 洋一

京都に米軍基地いらない6・15丹後集会アピール

日米両政府は、京丹後市経ヶ岬に米軍基地を設置しようとしています。

私たちは丹後の美しい自然を生かした地域の振興を願っており、米軍基地の設置は、このことを真っ向からふみにじるものです。米軍基地の設置をやめるよう、私たちは強く求めます。

新たにつくられようとしている米軍基地は、アメリカ本土のミサイル防衛のための「目」となるXバンドレーダーを設置するものです。これは、核戦争の最前線基地が京丹後市につくられるということです。米軍基地の設置は、この地域の軍事的な危険を高め、住民のくらしと自然を脅かします。

Xバンドレーダーは、住宅地から数百メートルしか離れていないところに置かれます。日本政府は安全だと主張していますが、強力な電磁波を出すため、レーダー周

辺は150メートルの立ち入り禁止区域と半径6キロ、高度6キロの飛行禁止区域が設定されます。海難事故の救援や、ドクターヘリの運行にも支障が出ます。そのため住民は強い不安を抱いています。今、全国に132の米軍基地があります。どこでも米軍と軍属による犯罪、不祥事、交通事故が問題となっています。そして、安保条約にもとづく取り決めによって、米軍と軍属が日本で問題を起こしても、日本の警察が調査・逮捕できない事例が、あいかわらず多発しています。経ヶ岬には米兵と軍属が160名配備されようとしています。この不安も拭い去ることはできません。京都に米軍基地はいりません！住民のくらしと自然を守るため、「京都に米軍基地はいらない」の声を一層大きくしましょう。

2013年月15日

京都米軍基地いらない6・15丹後集会参加者一同

署名用紙は 6月末集約(第1次)をお願いします!!